

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



## 副市長就任の挨拶

副市長 松田美幸さんが副市長に就任

市民の皆さん、こんにちは。豊かな自然に恵まれ、暮らしやすいと評判の福津市の未来創りに関わられることに、とてもワクワクしています。素晴らしい可能性を持つ市の最大の魅力は、市民力の高さだと感じるからです。

尊敬するリーダーの方から、市は医療互助組合の発祥の地だと教えていただきました。住民の知恵で生まれたこのしくみは、定礼まは常礼と呼ばれ、定礼公園としてその先進性が伝えられています。さらに、勝浦村の忍照和尚が、飢饉に



副市長 松田美幸

に思います。

市民、議会、市職員との対話を大切にしたい市政運営を目指し原崎市長と共に、チーム福津の一員として福津の未来のために全力を尽くしてまいります。市民の皆さんに直接お会いできる機会を楽しみにしています。どうぞよろしく願います。

## 万が一に備えて

一斉防災訓練



▲各組長が区長に点呼報告



▲自衛隊がカレーの炊き出し ▲消火訓練

震度6強の地震の発生を想定して、11月11日に市内で一斉防災訓練が行われました。

午前8時45分に防災行政無線による放送とサイレン、エリアメールを配信し、各家庭や地域、学校などで身を守る防護訓練を行いました。また、自治会や郷づくり地域ごとも独自の訓練が行われ、炊き出し訓練や消防署の体験型訓練などがありました。宮司コミュニティセンターでは地域住民が広場に集まり、点呼を取って避難の流れを確認しました。勝浦小学校では、防災に関するO×クイズや消防隊員による救護方法の説明を通して、子どもたちも防災に対する知識を深めていました。



▲本番さながらの火災防御訓練

また、秋の火災予防週間だったこの日、久末公民館の周辺では宗像地区消防本部と市消防団が合同火災防御訓練を行い、消防車を複数台中継しながら火点に向けて放水しました。

## 世界遺産登録をみんなで祝い

第1回ふくつの古墳秋まつり



▲手作りの古代衣装で「はい、チーズ」

世界遺産登録を祝して、11月23日に新原・奴山古墳群一帯で秋まつりが開催されました。お祝いのお菓子撒きや古代衣装体験、仏教伝来以前の食事である飛鳥汁の振る舞いもあり、来場者は楽しみながら古墳群を散策しました。

また、12月8日まで古墳deイルミネーションが開催され、勝浦地域郷づくり推進協議会や勝浦小学校の生徒たちがイルミネーションや竹灯で30号墳を華やかに照らしました。

## 実習の成果を皆さんで味わって

水高生によるまぐろ祭



▲生徒も店頭立って販売

お魚センターうみがめで、12月2日と3日、まぐろ祭りが開催されました。販売されたまぐろは、県立水産高校の生徒が約2か月間のハワイ沖実習で獲ったものです。今年度は昨年の1.5倍の約13tが水揚げされ、新鮮なまぐろが安く買えるとあって200人以上が販売開始前から列を作っていました。先頭に並んでいた男性2人は「毎年来ています。この日を楽しみにしていました」と語りました。

## おいしいりんごをありがとう

松本市からりんごの贈呈



▲りんごを受け取る柴田教育長(右)

福津市と宗像市の小学生が交流を続けている長野県松本市から11月10日、長野県特産のシナノゴールド880個が贈られました。柴田教育長は「これからも交流を通して絆を深めましょう」と松本市の担当者にお礼を述べました。りんごは市内の小学校に配られ、約4千人の子どもたちが、給食で味わいました。

## メンバーみんなのおかげです

宗岡さんが緑綬褒章受章



▲活動の合言葉は「私たちの健康は私たちの手で」

市食生活改善推進会の宗岡浩子会長が、緑綬褒章を受けました。宗岡さんは市民の食生活改善に長年ボランティアとして尽力されました。「ボランティアとして、これまで多くのメンバーと地道に活動してきました。このような賞をもらい、本当に光栄です。活動が後に続くように頑張ります」と語りました。